

**[単元を貫く問い] 二つの文章はどう違うのか、それはなぜか。**

**この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)**

[第1学年及び第2学年]

- ◆事柄の順序に気をつけて、だいたいな語や文を考えながら読む。
  - ・どうやってみをまもるのかな
- ◆時間的な順序や事柄の順序など考えながら、内容の大体を捉えたことを基に、文章の中の重要だと考えられる語や文を文章の中から見つける。
  - ・たんぼぼ

**本単元の目標**

**学びに向かう力、人間性等**

説明の仕方の違いに興味を持ち、進んで二つの文章を読み比べようとしている。

**単元終了時のめざす児童の姿**

- ・二つの文章に書かれている内容を、時間的な順序や事柄のまとめなどに注意しながら読み取るようとしている姿。
- ・二つの文章の共通点や相違点を見つけて、目的に合わせた説明の仕方に違いがあることに気づいている姿。

**知識及び技能**

二つの文章を読み比べ、目的に応じて説明の仕方に共通点や相違点があることや事柄の順序関係を理解することができる。(2)ア

**思考力・判断力・表現力等**

- ・二つの文章を読み比べる上で、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。C(1)ウ
- ・時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体をとらえることができる。C(1)ア

**この単元からつながっている領域の付きたい力(◆)と内容(・)**

[第3学年及び第4学年]

- ◆目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する力。

[第5学年及び第6学年]

- ◆目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりする力。

[中学校第1学年]

- ◆目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈する力。

[中学校第2学年]

- ◆目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈する力。

[中学校第3学年]

- ◆文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える力

**他教科等との関連**

- ・生活科(野菜を育てよう)(生きものをそだてよう)

**言語活動**

二つの文章をそれぞれ読み取り、説明の仕方を比べて違いをまとめ紹介する。

**【2時間】**

- 図書支援員の武田さんからの「全校のみんなが調べ学習をするときに、同じことを書いている本のどの本を読めば、知りたいことが詳しくわかるのか一目でわかるように本の紹介をしてほしい」という依頼をうけ、同じサツマイモについて書いている二つの文章読み比べていく学習を確認する。
- 「いろいろなふね」や「たんぼぼ」と同じ説明文の学習であるが、学習の系統が「説明の順序」から「説明の違い」に代わっていることを確認し、学習計画を立てる。

【主①】

**【3時間】**

- 一つ目の文章の内容の大体を読み取り、一つ目の文章の良さを見付ける。【思①】
- 二つ目の文章の内容の大体を読み取り、二つ目の文章の良さを見付ける。【思①】
- 相違点に目を向けて二つの文章を読み比べ、二つの文章の特徴について考える。(本時)【思②】

**【4時間】**

- 二つの文章の目的の違いを基に、関連図書を読み比べてまとめる。(3時間)【思②】【知】
- 単元の学習を振り返る。【主①】

**働かせている児童の姿**

- ・これまでの学習にプラスして、「たんぼぼ」と同じ説明文ではあるが、「説明の違い」を読み取ることをおさえ、二つの文章の違いを読みとろうと取り組んでいる姿。

- ・二つの文章を読み、大事な語や文を抜き出して、書かれている内容を表に整理している姿。
- ・整理した表をもとに、それぞれの文章のよさをまとめている姿。
- ・二つの文章を説明の仕方や代替の内容をもとに比べ、相違点を見つけている。

- ・これまで学習したことをふり返って、それぞれの良さがあることを確認し、今後の調べ学習などの際にも、説明の仕方の違いに目を付けて、調べたいことに合った本や資料を選ぼうと意欲を持っている姿。

**評価規準**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
共通、相違、事柄の順序などの情報と情報の関係について理解している。2(ア)	① 「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体をとらえることができる。C(1)ア ② 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。C(1)ウ	① これまで学習したことをふり返って、それぞれの良さがあることを確認し、今後の調べ学習に生かそうとしている。

**児童の実態と指導観**

本単元の重点指導事項は、学習指導要領における「思考力・判断力・表現力等」の「C読むこと」(1)ウ「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」である。その指導事項を踏まえ、ここでは、文章に書かれている内容を読み取るとともに、二つの文章を比べて読み、説明の仕方の違いに気付かせていくことをねらいとしている。比べて読むことは、読み取った情報を効果的に解釈したり評価したりするための基本的な技能の一つであり、低学年からこうした思考力を育てることが大切である。また、二つの文章を読み比べることにより、目的や用途に応じて説明する事柄や順序、説明の仕方に違いがあることを知り、目的や意図に応じて文章の書き方を選択する素地も養いたい。

本学級の児童は、これまでに読み取りにあたっては既習事項である「たんぼぼ」で、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉える学習を行ってきており、時を表す言葉に注目することはできるようになっているが十分とは言えない児童もいる。また、説明文の読み取りに苦手意識を持った児童も少なくない。本単元で初めて学習する「複数の文章の比べ読み」という活動に対して意欲的に学習できるよう、図書支援員の武田さんからの「全校のみんなが調べ学習をするときに、どんな本を読めば詳しくわかるのか一目でわかるように本の紹介をしてほしい」という依頼で、同じものを取り上げている本を読み比べて本の紹介をするカードを作成し、図書室に掲示してもらおう活動を取り入れる。二つの文章を読み比べてそれぞれの良さを見つけ出すとともに、ペアや全体で話し合う活動を通して、二つの文章の特徴を比べることで、目的や用途によって説明の仕方や順序などが違うことを読み取らせていきたい。

【本時の目標】 二つの文章を読み比べ、相違点について考えることができる。(5/9)

【本時における言葉による見方・考え方】二つの文章を説明の仕方や大体の内容をもとに比べ、相違点を見つけている。

◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫  
 ・自分が野菜を育てるとき図鑑やインターネットの情報をどう使ったかをもとに、的確にそれらの資料が役立ったか振り返り、二つの文章を読み比べてそれぞれの文章の目的の違いを確かめ、目的意識を持たせることで、学習への意欲を高めさせるようにする。  
 本時においては、2つの文章のそれぞれの良さを確かめ、その文章を読んでもらいたい相手に意識を持たせて、必要な情報をどちらの文章から選べばよいか関連図書を見直すことによって納得できるようにしたい。

◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て  
 二つの文章を読み比べる際に、書きぶりを比べることで目的に応じて、書かれる事柄や順序、説明の仕方には違いがあることに気付かせたい。

前時の振り返り・本時のめあての共有	ペア活動	個人活動・全体共有	まとめ・振り返り
<p>1 ゴールやつきたい力、前時までの学習を確認し、本時の見通しを立てる。</p> <p>T 何のためにこの学習をしているのですか。                  C どんな本を読めば知りたいことが調べられるのか、全校のみんなに教えてあげるためです。                  T そのために二つの違う文章を読んで、それぞれの文章を読んでよいところを見つけてきたのでしたね。一つ目の文章の良さは？                  C 時間の順序に沿って、いつどんな世話をするのか、いつどんな様子なのか説明しているので詳しい。                  T 二つ目の文章の良さは？                  C 見出しの後に、立派な芋をたくさん育てるために気をつけることを詳しく書いています。                  T そうでしたね。それぞれによさがあるものでしたね。それぞれによさがあるということは、二つの文章は同じなのかな？                  C ちがう。                  T もうほかに違いはないかな。                  C まだ違うところがある。                  T 二つの文章を比べて違うところや同じところを見付けます。</p> <p>T では、今日は二つの文章の違いを比べればよいということですね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                 めあて                  二つの文しょうをくらべて、ちがひを見つけよう。             </div>	<p>2 二つの文章を比べて、違うところを見つける。</p> <p>T 二つの文章を比べて、違うところを見つめましょう。(ペア)</p> <p>T 違うところを教えてください。                  C 文章の長さ違う。一つ目の文章は長いけど、二つ目の文章は短い。                  C 一つ目の文章は、育てる前から芋を収穫するまでの育てる順序が分かる。二つ目の文章は、見出しがある。                  C 一つ目の文章には、写真があるけど、二つ目の文章には挿絵がある。</p> <p>T 写真と挿絵には違いがある？                  C どっちもあると説明が分かりやすい。                  C 一つ目の文章の写真は、サツマイモの様子がよくわかる。二つ目の文章の挿絵は、説明がよくわかる。</p> <p>C 同じところもあります。                  C 二つともサツマイモの育て方について書いている。                  C うねをつくることをかいている。                  C よい苗を選ぶことを書いている。                  T まったくいっしょ？                  C ちょっと違う。</p>	<p>3 二つの文章の書きぶりの違いを考える。</p> <p>T 同じサツマイモのことを書いているのに、どうしてこんなに書きぶりが違うのでしょうか。                  C 一つ目の文章は、サツマイモの育て方全部のことで、二つ目の文章は、りっぱなさつまいもをたくさん収穫するために気をつけることを書いているから。                  T ということは、どういうこと？                  C 説明したいことが違う。                  T ということは、どんな人が読めばいいの？                  C 一つ目の文章は、サツマイモを始めて育てたい人に。二つ目の文章は、立派な芋をたくさん収穫したい人が読むといい。                  T どうしてそう思うの？                  C 一つ目の文章は、始めに、「どのようにそだてればいいのか」と書いていて、どう育てるかが詳しく書いているから。                  C 二つ目の文章は、始めに「りっぱないもをたくさんしゅうかくするためには、つぎのことに気をつけましょう」と書いているからです。                  T じゃあ、これからサツマイモを育てるとしたらみんなはどっちの文章を読めばいいの？                  C 二つ目です。なぜかという、一年生の時サツマイモを育てたので、初めてじゃないからです。それと、立派な芋がたくさんできなかったから、今度はたくさんできるといいなと思うからです。                  C 二つ目の文章は、立派な芋をたくさん収穫するための三つのポイントが分かりやすく書かれているからです。                  T じゃあ、一つ目の文章は誰におすすすめしたい？                  C 今年的一年生です。</p>	<p>4 学習を振り返る。</p> <p>T 二つの文章の違いは、見つけられましたか。                  書きぶりの違いは、ほかの文章でもいえることなのか確かめてみましょう。                  C この本とこの本は、同じトマトについての本なのに、こっちは初めてトマトを作りたい人に、こっちは世話の仕方を詳しく書いています。だから、本によって説明の仕方が違います。</p> <p>T 振り返りをノートに書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px; text-align: center;">                 &lt;本時で目指す児童の姿&gt;                   二つの文章を比べて違うところを見つけて、それぞれどんなことを知りたいときに読むといいか考えている姿             </div>
<p>【指導上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比べる目的や相手は常に意識できるよう、絶えず確認する。</li> <li>・二つの文章それぞれのよさをおさえ、見通しを持たせてから学習に入るようにする。</li> </ul>	<p>【指導上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材文を見比べやすいように一枚にまとめたものを掲示する。</li> <li>・ペアで伝え合うことで、違いを確かめながら読むとともに、自信をもって発表できるようにする。</li> </ul>	<p>【指導上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二つの文章の説明の違いを読み比べることで、それぞれの文章の良さについてもおさえるようにする。</li> </ul>	<p>【指導上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材で学習したことが関連図書でも言えるかどうか確かめて実感させることで、ほかの本も読んでみたいという意欲を高められるようにする。</li> </ul>
<p>【思②】(評価方法) 文章の中の重要な語や文を考えて二つの文章の違いを考えている。(発言・ワークシート)</p>			